

住民の命と生活を、原発に売りわたすのか？ 市議会は、再稼働推進陳情を採択するな



▲抗議する傍聴希望者(10/20 原特委) 再稼働「説明会」のヤラセを追及(10/17 市役所)▲

20日の原発特別委員会は、再稼働反対の陳情を不採択、原発推進期成会の推進陳情を強行採択しました。傍聴希望者を締め出し、民意を足蹴にするもの。10月9日の「説明会」のヤラセに続く、2度目の暴挙です。

●10/28 本会議で、推進陳情を葬ろう

3度目の攻防戦が目前です。10月28日、推進派は本会議で推進陳情を採択、市長は直ちに再稼働「同意」を行おうとしています。

なぜ、それほど急ぐのでしょうか？

国・県・市はこのかん、「説明会での議論の様子をみて再稼働の判断を行う」、と言ってきました。川内会場では、原発関連従業員を大量動員しました。ところがアンケート結果は「良かった」と「まあまあ良かった」を合わせて22%。「あまり良くなかった」と「良くなかった」の合計

は48%です。時間をおけばおくほど反対世論が高まると、国・県・市は焦っているのです。

●「52円の住民投票」でも、97%が反対

先月24日から始まった「52円の住民投票」では、再稼働反対が絶対多数です。推進派は、まともに争えば少数派であることがバレルことを恐れ、投票をボイコットしています。彼らの頼りは、市長の強権発動と、議会の数の力だけ。

だとしたら、皆で28日の本会議の傍聴にかけつけ、民意を突きつけましょう。一人ひとりの議員を説得しましょう。

26日の久見崎デモにも、一緒に参加しよう。

.....
10月26日(日)2時～久見崎集会→原発デモ

10月28日(火)7時半～市役所玄関抗議集会

.....